



バングラデシュ南部避難民支援

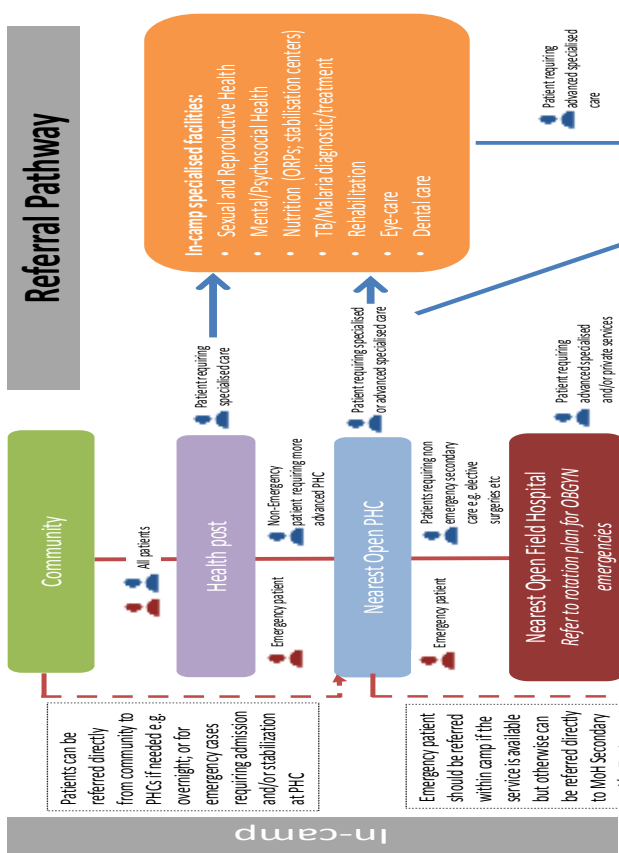
VOL.3

大森赤十字病院 看護師 木村仁美

保健医療支援事業について

バングラデシュ南部にある避難民キャンプ内の保健医療施設は、主に以下のように3段階に分かれています。

- ①ヘルスポスト
- ②プライマリーヘルスセンター (PHC)
- ③フィールドホスピタル



これらは日本でいうと、①は皆さんが少し調子が悪いなと思った時に通うクリニック、②は24時間対応し、クリニックよりもう少し詳しい検査ができるセンター、③はさらに充実した設備がある病院、というイメージです。

バングラデシュ保健省等により定められたガイドラインに従って施設を運営し、サービスの提供を行っています。キャンプ内では、患者さんはまず近くのヘルスポストを訪ねます。そこで医師が治療可能であると判断すれば治療をします。中・重症ケースまたは追加検査が必要であれば、キャンプ内の②へ紹介状を書きます。キャンプ内の医療施設では治療困難であり、キャンプ外での治療が必要だと医師が判断した場合は、同キャンプ内の②へ紹介状を書き、②からキャンプ外の医療施設への紹介を行います。こうしたシステムが確立しているからこそ、患者さんが適切な医療施設で治療が受けられるようになっています。

各国赤十字社・赤新月社サポートによるバングラデシュ赤新月社の保健医療施設も、①・②・③とそれぞれ施設を運営しています。

①ヘルスポスト (日本・カナダ、カタール)

カナダ赤十字社がサポートしている 丘の上にあるヘルスポスト
ヘルスポストは、車道から30分程歩いた丘の上にあります。この周辺にも多くの住民がいるため、近隣の住民にとっては欠かせない施設です。医療スタッフは、毎日この施設まで歩いて通っており、時には多くの医薬品などを担いで運んでいます。



現地スタッフより薬の管理について説明を受けている要員

カタール赤新月社がサポートしているヘルスポストの一つは、最近移転をし、広くなった診療所で診察を開始しています。ヘルスポストの周囲で健康教育の活動をするコミュニティヘルスのボランティアさんとも今後連携し、より良い保健医療支援が提供できるように準備しています。



診察について情報交換をする医師達



カタール赤と日赤サポートのそれぞれのヘルスポストで働くバ赤スタッフ達

②プライマリーヘルスセンター（PHC）（スイス・トルコ）

スイス赤十字社がサポートするPHCは、他にもIOMやHOPEなど色々な組織がサポートしています。施設内には診察室・薬局といったヘルスポストにあるものに加え、検査室・分娩室など充実した設備があり、24時間体制の分娩対応をしています。



PHC検査技師より検査方法について学んでいるバ赤の看護師



PHC医師とバ赤医療スタッフ

③フィールドホスピタル



プレハブのレントゲン室

Bangladesh Red Crescent Society が運営するフィールドホスピタルは、広い土地の中にプレハブやテントでできた施設が並んでいます。ここには診察室や、検査室、入院病棟などがあります。救急車が配置されているため救急搬送可能です。

Bangladesh Red Crescent Society の医療スタッフもこの敷地内のテントで生活しており、24時間体制を支えています。



入院病棟の内部



バ赤スタッフが生活するテント

Bangladesh Red Crescent Society 南部避難民救援金受付中！

http://jrc-tsudukeru.jp/donation6_bangladesh1/

皆さんのご支援ありがとうございます！
引き続き難民支援活動へのご理解・ご協力をお願いします！

